

あいち自動車環境戦略2020に関する取組の実施状況一覧

(2024(令和6)年3月現在)

目 次

| | | | |
|---|------------------------------|-----|----|
| 1 | 自動車単体対策の強化等 | ・・・ | 1 |
| 2 | 車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進 | ・・・ | 4 |
| 3 | 低公害車の普及促進 | ・・・ | 5 |
| 4 | エコドライブの普及促進 | ・・・ | 13 |
| 5 | 交通需要の調整・低減 | ・・・ | 17 |
| 6 | 交通流対策の推進 | ・・・ | 27 |
| 7 | 自動車交通集中地域等の対策の推進 | ・・・ | 29 |
| 8 | 普及啓発活動の推進 | ・・・ | 29 |
| 9 | 道路環境改善対策 | ・・・ | 31 |

※あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策ごとに分類しています。

1 自動車単体対策の強化等

(1) ディーゼル車対策の促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|--------------|----------------|---|--------------------------|--|-----------------------|--|
| 1 最新規制適合車の普及 | 中部運輸局 | 順次強化される排出ガス規制及び導入される排出ガス新試験モードを当該自動車の製作年月日、車種及び車両総重量等により区分して適用。 | 継続 | | | |
| | 名古屋市 | ○最新規制適合自動車代替促進事業 中小企業事業者、幼稚園・保育園、福祉施設等が車齢8年超えの貨物自動車等をより環境性能のよい、最新規制適合車へ代替する場合に補助を実施。（2022（令和4）年度：6台） ○名古屋市環境保全・省エネルギー設備資金融資 最新規制に適合していないディーゼルトラック・バスを最新排ガス規制適合車へ代替する中小企業者、中小企業団体に融資し、利子の半額補助を実施。（2022（令和4）年度：1台） | 継続 | | 継続 | |
| | (一社) 愛知県トラック協会 | ○ポスト新長期規制適合車導入に係る近代化基金融資 ポスト新長期規制適合車を購入する際の利子の一部補給（46件） | 継続 | | 継続 | |
| | (一社) 日本自動車工業会 | ディーゼル重量車については、2016年排出ガス規制に対応するために、電子制御による高圧多段燃料噴射、EGR（排気再循環システム）の精緻な制御による燃焼コントロール、DPF（ディーゼルパーティキュレートフィルター）やNox還元触媒などの技術をシステム化した排出ガス低減技術搭載車を市場に継続投入中。 | 継続 | | 継続 | |

(1) ディーゼル車対策の促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|----------------|--|---|--------------------------|--|-----------------------|--|
| 2 低公害建設機械の使用促進 | 中部地方整備局 | 【愛国、名国、名四】排出ガス対策型建設機械の使用 発注する工事においては、原則として排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（土木工事特記仕様書に記載） | 継続 | | 継続 | |
| | 一宮市 | 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、「一宮市の環境物品等の調達に関する基本方針」に基づいて、排出ガス対策型建設機械の使用を推奨している。 | 継続 | | 継続 | |
| | 春日井市 | ○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することを工事標準仕様書に記載 | 継続 | | 継続 | |
| | 碧南市 | 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載） 使用確認については、施行計画及び建設機械の写真にて行う。 | 継続 | | 継続 | |
| | 西尾市 | ・排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（愛知県建設部工事標準仕様書に準拠） 建設機械の確認については、施行計画及び完了写真で行う。 | 継続 | | 継続 | |
| | 中日本高速道路㈱名古屋支社 | 低公害建設機械の使用促進 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC ○排出ガス対策型建設機械の使用 NEXCOが発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用。（共通仕様書に記載） | 継続 | 低公害建設機械の使用促進 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC ○排出ガス対策型建設機械の使用 NEXCOが発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用。（共通仕様書に記載） | 継続 | 低公害建設機械の使用促進 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC ○排出ガス対策型建設機械の使用 NEXCOが発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用。（共通仕様書に記載） |
| | 名古屋高速道路公社 | ○排出ガス対策型建設機械指定制度の推進 排出ガス対策型建設機械指定制度（第3次基準） （H18.3）に基づき指定された排出ガス対策型建設機械の使用原則化 | 継続 | | 継続 | |
| | 愛知県道路公社 | ○排出ガス対策型建設機械の使用 ・発注する工事においては、原則、指定された排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（愛知県建設局土木工事標準仕様書に準じよう、特記仕様書に記載） ・確認方法は、工事完了時に使用した排出ガス対策型建設機械の写真を提出することとし、確認している。 | 継続 | | 継続 | |
| 愛知県 | ○排出ガス対策型建設機械 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」等に基づき、愛知県農林水産部門が発注する土木工事に対して、排出ガス対策型建設機械の使用を義務づけている。（農地関係工事標準仕様書・林務関係工事標準仕様書に記載） ○低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、愛知県農林水産部門が発注する土木工事の設計図書で使用を義務づけた場合には、低騒音型・低振動型建設機械を使用することとしている。（農地関係工事標準仕様書・林務関係工事標準仕様書に記載） | 継続 | | 継続 | | |

(2) 啓発活動の実施

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 |
|-----------------------------|---------------------------------------|---|---|-----------------------|
| 1 ディーゼル黒煙街頭検査・クリーンキャンペーンの実施 | 中部運輸局 | 名古屋南部周辺において、ディーゼル車を対象とした街頭検査を実施し、規制値を超える黒煙を排出する等の整備不良車に対し、必要な整備を命じるとともに、点検整備の励行などの啓発活動。（愛知県内黒煙検査：2回、3台検査） | 継続 名古屋南部周辺において、ディーゼル車を対象とした街頭検査を実施し、規制値を超える黒煙を排出する等の整備不良車に対し、必要な整備を命じるとともに、点検整備の励行などの啓発活動。（愛知県内黒煙検査：1回、1台検査） | |
| | | 運輸支局に不正改造車・黒煙相談窓口（不正改造車・黒煙110番）を設置し、通報を受けたユーザーにハガキを送付し、自主点検等を指導。（愛知県内不正改造車通報件数1018件、ハガキ送付枚数121枚、うち6月の強化月間中の不正改造車通報件数37件、ハガキ送付枚数30枚） | 継続 運輸支局に不正改造車・黒煙相談窓口（不正改造車・黒煙110番）を設置し、通報を受けたユーザーにハガキを送付し、自主点検等を指導。（愛知県内不正改造車通報件数1718件、ハガキ送付枚数164枚、うち6月の強化月間中の不正改造車通報件数81件、ハガキ送付枚数27枚） | |
| 2 車両点検整備の励行 | 中部地方整備局 | 【愛国、名国、名四】車両点検整備の励行事務所の所管する車両においては、点検整備を励行している。 | 継続 | 継続 |
| | 中部運輸局 | 9月及び10月に自動車点検整備推進運動を実施し、ポスター及びチラシによる広報活動と街頭検査時における点検整備の励行を指導。 | 継続 | |
| | 一宮市 | 車両点検整備の励行 | 継続 | 継続 |
| | 春日井市 | ○車両点検整備の励行 所有する車両について、点検整備を励行している | 継続 | 継続 |
| | 愛知県道路公社 | ○所有する車両について、運行前に点検を行い、かつ定期的に点検整備を行っている。 | 継続 | 継続 |
| | (公社)愛知県バス協会 | 自動車点検整備推進運動 会員事業者への周知と会員事業者へエアクリナー・エレメント、燃料フィルター等の点検整備、アイドリングストップ装置付き車のスターターモーター等の点検整備実施の呼びかけ | 継続 | 継続 |
| | (一社)日本ガス協会(東邦ガス株) | 車両点検整備を3カ月毎に実施 | 継続 | 継続 |
| | (一社)日本自動車工業会 | 車両の定期点検に関する啓発内容をウェブサイトに掲載。 | 継続 | 継続 |
| | 中部電力(株) | 車両運行前点検を確実に実施するとともに、既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図る。 | 継続 | 継続 |
| | 愛知県 | ○車両点検整備の励行 財産管理課で管理している貸出車両（バン等）については、車両を借受ける職員が運行前後に車両点検を行い、財産管理課運転職員が運行する公用車については、各職員が登退庁時に点検を行っている。 | 継続 | 継続 |
| 企業庁 | 公用車について、運行前に点検を行い、かつ毎月1回定期的に点検を行っている。 | 継続 | 継続 | |
| 3 不正混和軽油等の使用防止 | 中部運輸局 | ディーゼル車に対し、街頭検査で軽油抜き取り検査を実施し、不正軽油の使用防止を図る。（愛知県内不正軽油検査：1回、1台） | 継続 | |
| | 愛知県 | 愛知県不正軽油撲滅対策会議を設置し、軽油抜き取り調査を実施し、不正軽油撲滅のための広報活動等を行う。 | 継続 | 継続 |

2 車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進

(1) 規制の実施、強化等

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-----------------------|---------|--|--------------------------|---|-----------------------|---|
| 1 自動車NOx・PM法に基づく施策の実施 | 愛知県 | 環境省の委託により、総量削減計画進行管理調査を実施 | 継続 | | 継続 | |
| 2 排出ガス規制の強化等 | 愛知県 | 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」に基づき、特定特殊自動車の使用について立入検査等を実施。 | 継続 | | 継続 | |
| 3 車種規制非適合車の使用抑制の推進 | 中部地方整備局 | 【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において、指導取締りを2回実施。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを3回実施。 | 継続 | 【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において、指導取締りを2回実施。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを4回実施。 | 継続 | 【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において、指導取締りを4回実施予定。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを4回実施予定。 |
| | 名古屋市 | ○車種規制非適合車の使用抑制等に関する取り組み ・非適合貨物自動車等の使用者の把握 非適合貨物自動車等の実態を把握するために、国道23号を通行する車のナンバープレートの調査を実施。 ・普及啓発 市内の荷主等及び非適合貨物自動車等の使用者に対し、使用抑制のパンフレットを送付 ・仕様書への記載 環境局工事共通仕様書において、要綱に基づき非適合車の使用抑制に努める旨を記載。 | 継続 | | 継続 | |
| | 岡崎市 | ○車種規制非適合車の使用抑制の推進 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱に基づき、非適合車の使用抑制を推進する。 | 継続 | | 継続 | |
| | 愛知県 | ○貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制 「貨物自動車等の使用抑制等に関する要綱」に基づき、農林基盤局が発注する工事において、「自動車NOx・PM法」の対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めることとしている（工事標準仕様書に記載） 荷主等に対し、車種規制非適合車の使用抑制が図られるよう、県事務所による立入指導を実施。 県内事業所からの届出内容を集約・公開するとともに、取組を継続するよう、事業者、トラック協会、バス協会へ文書指導した。 | 継続 | | 継続 | |

3 低公害車の普及促進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-------------------------------|-----------|--|--------------------------|---|-----------------------|--|
| 1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置 | 中部運輸局 | 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業）を活用し、グリーンスローモビリティの車両導入を支援 | 継続 | 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業）により、グリーンスローモビリティの車両導入を支援 | | |
| | 中部地方環境事務所 | ○低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業（国土交通省連携） 対象者：トラック運送業者（中小事業者に限る） 対象車両：低炭素型ディーゼルトラック（大・中型は2015年度燃費基準+5%以上、小型は+10%以上達成車） | 継続 | | 終了 | |
| | | ○環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業（国土交通省・経済産業省連携事業） 対象者：地方公共団体、民間団体等 対象車両：トラック（EV, HV, NGV車） ：バス（EV, HV車） | 継続 | | 継続 | ○HVトラック、バス及びNGVトラック、バスを対象に継続予定 |
| | | ○脱炭素社会構築に向けた再エネ等由来水素活用推進事業（一部経済産業省、国土交通省連携事業）のうち、水素活用による運輸部門等の脱炭素化事業 対象者：地方公共団体、民間事業者・団体等 対象車両：燃料電池バス、燃料電池フォークリフト | 継続 | | 継続 | ○地域再エネ水素ステーション保守点検等支援事業として継続予定 ○産業用車両の脱炭素化促進事業として一部継続予定 対象者：地方公共団体、民間事業者・団体等 対象車両：電動建機、燃料電池フォークリフト等 |
| | | | 新規 | ○商用車の電動化促進事業（経済産業省、国土交通省連携事業） 対象者：地方公共団体、民間事業者・団体等 対象車両：BEV、PHEV、FCV等の商用車（トラック・タクシー・バス） | 終了 | |
| | | | | | 新規 | ○運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業（国土交通省連携事業）予定 対象者：地方公共団体、民間事業者・団体等 |
| | 名古屋市 | ○ゼロエミッション車の購入補助金 外部給電機能を有するゼロエミッション車を新車で購入した市民へ補助を実施。 (2023(令和4)年度:579台) | 継続 | | 継続 | |
| | | ○名古屋市環境保全・省エネルギー設備資金融資 ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、天然ガス自動車、クリーンディーゼル自動車を購入する中小企業者、中小企業団体に融資し、利子の全額補助を実施。（2023（令和4）年度：2台） | 継続 | | 継続 | |
| | | ○ゼロエミッション車の購入補助金 外部給電機能を有するゼロエミッション車を新車で購入した市民へ補助を実施。 | 継続 | | 継続 | (継続予定) |
| | 豊橋市 | ○次世代自動車購入補助金 次世代自動車（EV、PHV、FCV）を購入した①個人②事業者③①、②にリース貸与するリース事業者に対して補助金を交付。 (EV：182台、PHV：96台、FCV：6台) | 継続 | EV・PHVの補助件数を増加 | 継続 | |

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | | |
|-------------------------------|----------------|--|---|---|--|--|--|
| 1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置 | 岡崎市 | ○岡崎市次世代自動車（EV・PHEV・FCV）購入補助金の実施 | 継続 | 補助金の加算要件として、太陽光発電設備を設置しているものを追加。 | 継続 | | |
| | 半田市 | | | | 新規 | 次世代自動車購入費補助 個人向け：FCV、EV、PHEV（予算額：15,000千円） | |
| | 豊川市 | | | | 新規 | ○次世代自動車（FCV、EV、PHV）の補助金の実施 | |
| | 碧南市 | 事業用次世代自動車の購入への補助金を交付 ・事業用 10件 | 継続 | 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 ・事業用 19件 ・個人用 30件 （R6年1月31日現在） | 継続 | | |
| | 豊田市 | 次世代自動車普及促進費補助金 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：300件 事業者向け：38件 | 継続 | 次世代自動車普及促進費補助金（令和6年1月末時点） 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：311件 事業者向け：46 件 | 継続 | | |
| | 西尾市 | ・低公害車普及促進事業補助金 低公害車を導入する個人及び法人に対して補助金を交付。（40件） | 継続 | ・低公害車普及促進事業補助金 低公害車を導入する個人及び法人に対して補助金を交付。（52件） ※予算に達したため2023年度の受付は終了 | 継続 | | |
| | 新城市 | | 新規 | 市内に事業所を持つ民間事業者で電気自動車等を購入又は電気自動車等に充電が可能な充電設備を設置するものに補助金の交付を実施。交付申請2件（1月末時点）。 | 継続 | | |
| | 日進市 | ○次世代自動車購入費補助金制度 FCV・EV・PHVの購入者に対して補助金を交付 | 継続 | | 継続 | | |
| | (一社) 愛知県トラック協会 | ○低公害車導入助成 CNGトラック、ハイブリッドトラックを導入する事業者に対して補助金を交付（天然ガス車1台、ハイブリッド22台） | 継続 | 受付中 | 継続 | | |
| | (公社) 愛知県バス協会 | ハイブリッドバス、CNGバス、燃料電池バス、電気バス等低公害、低燃費バスに対する助成措置 | 継続 | | 継続 | | |
| | 愛知県 | | 2014（平成26）年度4月以降に新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVに対する自動車税の課税免除（2019（令和元）年10月以降は自動車税種別割） （2022年（令和4）年度実績7,150台） | 継続 | | 継続 | 2024（令和6）年度末までに新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVが対象 |
| | | | ○燃料電池産業車両導入促進事業費補助金 燃料電池フォークリフトの導入を支援するため、通常のフォークリフトとの差額の一部を補助（1件）。 | 継続 | 補助件数は、0件の予定 | 継続 | 未定 |
| | | | | 新規 | ○燃料電池産業車両普及促進事業 配送コストを低減させる水素供給方法の検討のため、既存の水素ステーションを活用した場合の水素供給に係る実証を実施 | 終了 | |
| | | 先進環境対応自動車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：天然ガス（トラック・バス）、優良HV（トラック・バス）、ハイブリッドUDタクシー、EV（トラック・バス・乗用車）、PHV（トラック・バス・乗用車）、FCV（バス・乗用車） 【実績】1,291台 | 継続 | 先進環境対応自動車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：天然ガス（トラック・バス）、優良HV（トラック・バス）、ハイブリッドUDタクシー、EV（トラック・バス・乗用車）、PHV（トラック・バス・乗用車）、FCV（バス・乗用車） 【12月時点申請台数】1,224台 | 継続 | 先進環境対応自動車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：天然ガス（トラック・バス）、優良HV（トラック・バス）、EV（トラック・バス・乗用車）、PHV（トラック・バス・乗用車）、FCV（トラック・バス・乗用車） | |

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|---------------------------|-----------|---|--------------------------|--|-----------------------|---|
| 3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 | 東海農政局 | 公用車の低公害、低燃費車の率先導入を継続して実施（2022年度の更新はなし） | 継続 | | 継続 | |
| | 中部運輸局 | 公用車を更新する際には、原則低公害車を導入（2022（令和4）年3月末時点：ハイブリッド車18台、低排出・低燃費車9台、燃料電池自動車1台） | 継続 | | | |
| | 中部地方環境事務所 | 公用車全車のハイブリッド車化（燃料電池車両を導入。） | 継続 | | 継続 | |
| | 名古屋市 | ○公用車への次世代自動車の導入 ・公用車への低公害車・低燃費車の導入方針 ○公用車への電動車の導入 ・令和5年度以降の予算により導入する公用車は、原則電動車とする新たな導入方針を策定 | 継続 | ○公用車への電動車の導入 ・「公用車への電動車の導入方針」に基づき、原則電動車を導入。 | 継続 | |
| | | ○2016年規制適合バスの導入 ・2016年規制適合バス46両導入（当市基準※の低公害バス累計904両（89%）） ※公用車への低公害・低燃費車の導入方針 | 継続 | ○2016年規制適合バスの導入 ・2016年規制適合バス107両導入（ポスト新長期規制以降の適合バス累計559両（55%）） | 継続 | ○2016年規制適合バスの導入 |
| | 豊橋市 | 公用車にEV2台を導入（計25台） | 継続 | 公用車にEV12台を導入（計37台） | 継続 | 公用車に次世代自動車を計画的に導入予定 |
| | 岡崎市 | ○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 | 継続 | | 継続 | |
| | 一宮市 | 公用車4台を低公害車に更新（内訳） 公用車2台（低公害車）を低公害車に更新 公用車2台（低公害車以外）を低公害車に更新 | 継続 | 公用車2台（低公害車）を低公害車に更新 | 継続 | 公用車2台を低公害車に更新予定 |
| | 半田市 | 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※EV：2台購入 | 継続 | 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※EV：1台購入 | 継続 | 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※EV：新規購入予定 |
| | 春日井市 | 公用車として、ハイブリッド車7台、電気自動車4台、クリーンディーゼル車57台を所有 | 継続 | | 継続 | |
| | 津島市 | ○公用車への次世代自動車等先進エコカーの導入 PHV 2台 | 新規 | ○公用車への次世代自動車等先進エコカーの導入 EV 2台、HV 1台 | 継続 | ○公用車への次世代自動車等先進エコカーの導入 EV 6台 |
| | 碧南市 | 公用車への次世代自動車の導入推進 | 継続 | 公用車への次世代自動車の導入推進 ・燃料電池自動車 2台 | 継続 | |
| | 豊田市 | 公用車に先進エコカーを率先導入 燃料電池自動車 1台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 6台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 1台 | 継続 | 公用車に先進エコカーを率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 2台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 | 継続 | 公用車に次世代自動車等先進エコカーを率先して導入する |
| | 西尾市 | 公用車に次世代自動車等エコカーを導入。 | 継続 | | 継続 | |
| | 新城市 | | 新規 | 車両更新計画に基づく公用車の更新時における電気自動車等導入の検討 令和5年度までにEV2台導入済み | 継続 | 令和6年度電気自動車1台導入予定 |
| | 日進市 | HV 2台導入 | 継続 | EV 1台導入 | 継続 | HV 1台導入予定 |
| | 豊山町 | 公用車買替基準等に基づき、低公害・低燃費車への買替えを行う。（2022年度は買替えていない） | 継続 | 公用車買替基準等に基づき、低公害・低燃費車への買替えを行う。（2023年度は1台買い替え、電気自動車へ） | 継続 | 公用車買替基準等に基づき、低公害・低燃費車への買替えを行う。 |
| | 名古屋高速道路公社 | ○低公害・低燃費車の導入 ・ハイブリッド車：5台 ・低排出ガス車（新☆☆以上）：23台 | 継続 | クリーンディーゼル車3台入れ替え | 継続 | クリーンディーゼル車5台入れ替え |
| | 愛知県 | 県公用車への次世代自動車等先進エコカー導入（低排出かつ低燃費車、HV、EV） 【実績】EV2台、HV15台、低排出かつ低燃費車12台 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入（2022年度：14台） 農政課 | 継続 | 県公用車への電動車導入（HV、EV） 【予定】EV1台、PHV1台、HV29台 | 継続 | 公用車に電動車を導入 |

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-----------------------------|-------------------|--|--------------------------|--|---|
| 4 従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進 | 中部地方環境事務所 | 国で策定した「地域脱炭素ロードマップ」において、重点対策の一つである「ゼロカーボンドライブ」（再エネ電気由来の電動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車の積極的導入）を推進し、自動車による移動を脱炭素化した。 | 継続 | 継続 | (当面継続) |
| | 名古屋市 | ○グリーン配送の実施 2006(平成18)年度より、物品を納入する事業者到低公害・低燃費車などの使用を求める「グリーン配送」を実施。 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | 春日井市 | 環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、次世代自動車の導入を推進 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | (一社)日本ガス協会(東邦ガス株) | 次世代自動車等先進エコカーへの転換推進 | 継続 | 次世代自動車等先進エコカーへの転換推進 | 継続 |
| | 中部電力(株) | 電動車の導入・・・85台 内訳 ・電気自動車：78台 ・プラグインハイブリッド車：7台 | 継続 | 電動車の導入・・・34台を予定 内訳 ・電気自動車：8台 ・プラグインハイブリッド車：26台 | 2030年度目標（社有車 ^{※1} 100%電動化 ^{※2} ）に向けて業務用途に合致した車両ラインナップ状況を鑑みて導入する。 ※1 レジリエンスの観点より電動化に適さない緊急工事用の特種車両を除く ※2 電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）等 |
| | 愛知県 | ○グリーン配送の実施 | 継続 | 継続 | 継続 |
| 6 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及促進 | 中部運輸局 | 次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業」を公募。（自動車環境総合改善対策費補助金） | 終了 | 令和4年度補正予算分を除き、環境省事業に移管 | |
| | 岡崎市 | ○電気自動車用急速充電設備開放事業 道の駅に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | 春日井市 | 春日井まつり「エコワールド」で電気自動車等次世代自動車を展示 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | 愛知県 | 県としての今後のEV・PHV・FCVの普及目標と、その達成に向けた取組の方向性を示す「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」に基づき普及促進を実施 | 継続 | 新規 電気自動車（EV車）の特性を知ってもらうことや職員らの環境意識の向上のために、市で保有するEV車4台のうち環境部環境政策課で保有する1台を一定期間本庁舎職員が利用できるようにした。 | 継続 |

(2) 燃料供給施設等のインフラ整備促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-----------------|---|--|--|--|--|
| 1 充電インフラ設備の整備促進 | 中部運輸局 | 次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業」を公募。（自動車環境総合改善対策費補助金） | 令和4年度補正予算分を除き、環境省事業に移管 | | |
| | 豊橋市 | ○住宅用充電設備導入補助金 自ら居住する市内の住宅に充電設備を設置した個人に対して補助金を交付。 | 継続 | | 継続 |
| | | 公共施設での充電設備の運用 （普通充電器20基、急速充電器6基） | 継続 | | 継続 |
| | | - | - | | 新規 ○急速充電インフラ設置費補助 市内において多数の者が利用できる場所に充電設備を設置する事業者に対して補助金を交付。 |
| | | - | - | | 新規 ○公共施設充電インフラ整備 公共施設に設置している急速充電設備について、設備の老朽化に伴い設備の更新を行う。 |
| | 一宮市 | 電気自動車等充電設備（V2H）の設置費用に対して補助金を交付 （令和4年度実績：13件） | 継続 | | 継続 |
| | 春日井市 | 市民向けに電気自動車等充電設備（V2H）の設置補助事業を実施 | 継続 | | 継続 |
| | | ○エネルギー発電設備投資事業助成金 工場等の新增設に係る助成金の認定を受けた事業者が、工場等の新增設に伴って電気自動車用充電器等の設置をした場合に助成金を交付。（助成額：対象経費の20%以内、限度額：200万円/年） | 継続 | | 継続 |
| | 豊川市 | | | | 新規 ○市役所北庁舎駐車場に設置した急速充電設備の耐用年数経過に伴う廃止と新規設置の検討 |
| | 津島市 | ○住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金 電気自動車等充電設備（V2H）を設置した市民への補助制度を新設 | 継続 | ○住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金 電気自動車等充電設備（V2H）を設置した市民への補助を実施 | 継続 ○住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金 電気自動車等充電設備（V2H）を設置した市民への補助を実施 |
| 碧南市 | ・市役所駐車場に設置した電気自動車充電スタンド1基の維持管理 ・住宅用電気自動車等充電設備への補助金交付（4件） | 継続 | ・住宅用電気自動車等充電設備への補助金交付（2件 R6年1月31日現在） | 継続 | |
| 豊田市 | ・引き続き無料開放予定・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開 | 継続 | ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開 | 継続 ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開 | |

(2) 燃料供給施設等のインフラ整備促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-----------------|--|---|--|--|----|---|-----------------------------------|
| | | | | | | | |
| 1 充電インフラ設備の整備促進 | 新城市 | | | | | 新規 | 民間事業者との協定に基づく、公共施設への電気自動車普通充電器の設置 |
| | 日進市 | ○住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金 電気自動車充電設備（V2H）を設置した市民へ補助金の交付（1基） | 継続 | ○住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金 電気自動車充電設備（V2H）を設置した市民へ補助金の交付（6基） | 継続 | 継続 | |
| | | | 新規 | ○次世代自動車購入費等補助金制度 EV・PHVの購入に併せて、充電設備を購入・設置する場合に補助金を加算 | 継続 | | |
| | | | | | 新規 | 市役所本庁舎駐車場への電気自動車用充電スタンド1基整備予定 | |
| | 豊山町 | | 新規 | 役場駐車場内に急速充電スタンド（1基）を設置 | 継続 | 役場駐車場内の急速充電スタンド（1基）の維持管理 | |
| | 蟹江町 | 住宅用太陽光発電施設導入促進補助金 電気自動車充電設備（V2H）を設置した町民へ補助金の交付（1基） | 継続 | 住宅用太陽光発電施設導入促進補助金 電気自動車充電設備（V2H）を設置した町民へ補助金の交付 | 継続 | 住宅用太陽光発電施設導入促進補助金 電気自動車充電設備（V2H）を設置した町民へ補助金の交付 | |
| | 中日本高速道路(株)名古屋支社 | 充電インフラ設備の整備促進 東名赤塚PA① | 継続 | 充電インフラ設備の整備促進 東名赤塚PA① 長篠設楽原PA② | 継続 | 充電インフラ設備の整備促進 整備予定なし | |
| | 愛知県道路公社 | ○PAに電気自動車用充電器を整備 ・大府PA上り1基 ・阿久比PA下り1基 | 継続 | ○PAで電気自動車用充電器を運用 ・大府PA上り1基 ・阿久比PA下り1基 | 継続 | | |
| | 中部電力(株) | e-Mobility Powerや急速充電器メーカーより情報収集し、充電インフラの整備に向けて検討 | 継続 | 充電設備の設置（事業場内：3カ所） 参考：既設充電コンセント数・・・約400箇所 電動車導入計画を踏まえ、必要となる充電設備の設置について検討を進めている。 | 継続 | 電動車導入計画を踏まえ、必要となる充電設備の設置について検討を進めていく。 | |
| 愛知県 | 普通充電器（2カ所）の運用（本庁舎2014.11、環境調査センター2020.6） | 継続 | 普通充電器（3カ所）の運用（本庁舎2014.11、環境調査センター2020.6、愛・地球博記念公園2023.9） | 継続 | | | |
| 2 天然ガススタンドの整備促進 | (一社)日本ガス協会(東邦ガス(株)) | 国の補助金を活用するなど、天然ガススタンドの設備更新・整備を実施し、スタンドを維持・継続。 | 継続 | 国の補助金を活用するなど、天然ガススタンドの設備更新・整備を実施し、スタンドを維持・継続。 | 継続 | | |

(2) 燃料供給施設等のインフラ整備促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 |
|---------------|-------------------|--|---|-----------------------|
| 3 水素供給施設の整備促進 | 中部経済産業局 | 中部FCV水素供給インフラ整備推進会議の運営 ・水素ステーション整備支援 ・水素に係るマッチングセミナーの開催 | 継続 中部FCV水素供給インフラ整備推進会議の運営 ・水素ステーション整備支援 ・政策動向等の共有 等 | 継続 |
| | 豊田市 | とよたエコフルタウンにおいて水素ステーションと燃料電池自動車の仕組みや導入の効果等をPR | 継続 引続きPRを予定 | 終了 |
| | (一社)日本ガス協会(東邦ガス㈱) | HySUT等が実施するNEDO事業（水素ステーション関連の技術開発）や法改正検討会に参画 ※NEDO：(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 HySUT：(一社)水素供給利用技術協会 | 継続 HySUT等が実施するNEDO事業（水素ステーション関連の技術開発）や法改正検討会に参画 ※NEDO：(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 HySUT：(一社)水素供給利用技術協会 | 継続 |
| | | 商用水素ステーション5カ所（日進市、豊田市×2カ所、名古屋市、常滑市）、水素サプライセンター（東海市）の運営。 | 継続 商用水素ステーション5カ所（日進市、豊田市×2カ所、名古屋市、常滑市）、水素サプライセンター（東海市）の運営。 | 継続 |
| | トヨタ自動車㈱ | JHyMへの加入 ※日本水素ステーションネットワーク合同会社 | 継続 JHyMへの加入 ※日本水素ステーションネットワーク合同会社 | 継続 |
| | | ○福島・東京でエネルギーマネジメントシステムの構築・社会実装開始（CJPT） ○福島にて水素社会実装開始 ○「次世代グリーンCO2燃料技術研究組合」設立 ○「電池サプライチェーン協議会」加入 ○再生可能エネルギー発電事業を推進する「トヨタグリーンエナジー」設立 | 新規 ○リユースした電動用バッテリーで大容量スイープ蓄電システムを構築し、電力系統への接続を含めた運転を開始（JERA、トヨタ） ○電気自動車用蓄電池を活用した定置用蓄電池システムの開発・実証（東京電力ホールディングス、トヨタ） ○中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議による中部圏水素・アンモニアサプライチェーンビジョンの策定（中部圏水素利用協議会） | 継続 |
| | 愛知県 | ○水素ステーション整備費補助金 水素ステーションの整備費の一部を補助（3件）。 | 継続 補助件数は、5件の予定 | 継続 |
| | | ○水素ステーション需要創出活動費補助金 水素ステーションの運営費の一部を補助（33件）。 | 継続 補助件数は、37件の予定 | 継続 |

(3) 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 |
|--------------------------|---------------|---|--|--|
| 1 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発の促進 | トヨタ自動車㈱ | <p>○大型商用車向け水素エンジンの企画・基礎研究を開始（いすゞ、デンソー、日野、CJPT、トヨタ）</p> <p>○bZ4X (BEV) を発売 (22年5月) ○新型シエンタ (HEV) 発売 (22年8月) ○ハリアーにPHEVを新設定 (22年10月) ○新型クラウン (HEV) を発売 (22年11月) ○新型RX (HEV) 発売 (22年11月) ○新型プリウス (HEV) を発売 (23年1月) ○新型プリウス (PHEV) を発売 (23年3月) ○新型C+walk S (電動) を発売 (23年3月) ○新型RZ450e (BEV) を発売 (23年3月)</p> | <p>新規</p> <p>○バッテリーEV用全固体電池の量産実現に向けた協業を開始(出光、トヨタ)</p> | |
| | (一社) 日本自動車工業会 | <p>会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池車等の次世代自動車の開発・車種展開を推進した。 2022年の乗用車新車販売において次世代自動車の占める台数の全体に対する割合は、49.0%となった。</p> | <p>新規</p> <p>○新型アルファード (HEV) を発売 (23年6年) ○新型ヴェルファイア (HEV) を発売 (23年6月) ○新型センチュリー (PHEV) を発売 (23年9月) ○新型クラウン スポーツ (HEV) を発売 (23年10月) ○新型LM (HEV) を発売 (23年10月) ○新型LBX (HEV) を発売 (23年11月) ○新型クラウン スポーツ (PHEV) を発売 (23年12月)</p> | <p>継続</p> <p>○2030年までに30車種のバッテリーEV展開-セグメントでフルラインでBEV導入予定 ○日米での車載用電池生産BEV向け最大40GWh増強予定</p> |
| | 愛知県 | <p>○次世代自動車先端技術研修 自動車部品メーカーの技術者に対し、今後自動車業界で求められる次世代自動車に係る主要テーマ(電動化、カーボンニュートラル、軽量化など)について、最新技術に関する講座を実施する。</p> <p>【実績】 県と(一社)中部産業連盟が連携し「自動車産業フォーラム2023」を実施 ・開催期間 : 2023年3月13日(月)～3月27日(月) ・開催方法 : オンライン</p> | <p>継続</p> <p>○次世代自動車先端技術研修 自動車部品メーカーの技術者に対し、今後自動車業界で求められる次世代自動車に係る主要テーマ(電動化、カーボンニュートラル、軽量化など)について、最新技術に関する講座を実施。</p> <p>【予定】 県と(一社)中部産業連盟が連携し「自動車産業フォーラム2024」を実施 ・開催期間 : 2024年3月15日(金)～3月29日(金) ・開催方法 : オンライン</p> | <p>継続</p> |

4 エコドライブの普及促進

(1) エコドライブの実践

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|----------------------------------|----------------|---|--------------------------|-----|-----------------------|--|
| 1 自動車運転免許の取得、更新時における エコドライブ教育の実施 | 愛知県警察本部 | ○ 交通の教本（全国版）、安全運転テキスト&ガイド（愛知県版）に交通公害及びエコドライブについての啓発内容を記載 ※ それぞれにエコドライブの項目を記載 | 継続 | | 継続 | |
| | 東海農政局 | 運転手へアイドリングストップを心がけるよう徹底 | 継続 | | 継続 | |
| 2 アイドリング・ストップの徹底 | 名古屋市 | ○アイドリングストップの義務化 2003(平成15)年度より、市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例に基づいて、アイドリング・ストップの遵守を指導。 | 継続 | | 継続 | |
| | 一宮市 | 「いちのみや気候変動対策アクションプラン2030」及び「第5次エコアクション一宮」によるアイドリング・ストップの徹底 | 継続 | | 継続 | |
| | 春日井市 | 春日井市生活環境の保全に関する条例に基づき、駐車場面積200㎡以上の駐車場管理者に、駐車場利用者に対しアイドリングストップを周知するよう指導 | 継続 | | 継続 | |
| | | 環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、アイドリングストップの徹底を推進 | 継続 | | 継続 | |
| | | 公共施設の駐車場に看板を設置し、アイドリングストップを徹底 | 継続 | | 継続 | |
| | 碧南市 | 碧南市第3次環境基本計画の取組目標としてアイドリングストップ等のエコドライブを挙げている。 | 継続 | | 継続 | |
| | 日進市 | 日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）による、アイドリングストップの啓発 | 終了 | | | |
| | (一社) 愛知県トラック協会 | ○EMS機器導入助成（アイドリング機器含む） EMS機器を導入する事業者に対して補助金を交付（2,348件） アイドリングストップ支援機器を導入する事業者に対して補助金を交付（5台） | 継続 | 集計中 | 継続 | |
| | (公社) 愛知県バス協会 | アイドリングストップ運動 9月～11月の3か月間を「バスの環境対策強化月間」として会員事業者への日常的・アイドリング・ストップ実施の呼びかけと、乗合バスの信号待ち時におけるお客様への環境対策へのご理解、ご協力呼びかけ | 継続 | | 継続 | |
| | 愛知県 | ・ 県条例においてアイドリングストップの実施を規定 | 継続 | | 継続 | |

(1) エコドライブの実践

| 施策名 | 実施主体 | 2022 (令和4) 年度実施した取組 | 2023 (令和5) 年度実施した取組 (予定も含む) | | 2024 (令和6) 年度以降に実施予定の取組 | |
|--------------------------|-----------------|--|----------------------------------|--|-------------------------|---|
| 3 事業所におけるエコドライブ推進リーダーの設置 | 名古屋市 | ○エコドライブマスターの認定 2008(平成20)年度から、事業所内で積極的にエコドライブの実践を呼びかける「エコドライブマスター」を認定。(累計4436名認定) | 継続 | | 継続 | |
| | (一社)愛知県トラック協会 | ○省エネ走行研修会 12月10日に実施 (16社26名) | 継続 | ○省エネ走行研修会 9月2日に実施 (22社39名) | 継続 | |
| 5 シンポジウムやコンテスト等イベントの開催 | 名古屋市 | ○エコドライブセミナー エコドライブ運転を学ぶ座学の講習会を開催 (11月6日、計82名) ○エコドライブトレーニング エコドライブ運転を学ぶ体験型講習会を開催 (6月19日、11月6日、計16名) | 継続 | ○エコドライブセミナー ・エコドライブ運転を学ぶ座学の講習会を開催 (12月5日、計74名) ・エコドライブ運転を学ぶ座学の講習会 (オンライン動画配信形式) を開催 (12月12日～2月29日、実施中) | 継続 | |
| | | ○タイヤチェックキャンペーン ・ショッピングモール駐車場で実施 (17台) | 終了 | | 終了 | |
| | 豊橋市 | 豊橋市主催環境イベント内でブースを設置し、エコドライブに関するクイズや缶バッジ作成等を通じ啓発を行った | 継続 | | 継続 | |
| | 岡崎市 | ○エコドライブコンテストの実施 エコドライブの普及や啓発ならびに、PHEV・FCVの展示 (11月22日に開催) | 継続 | ○エコドライブコンテストの実施 (11月19日実施) | 継続 | |
| | 豊田市 | 各種イベントにおいて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け | 継続 | 各種イベントにおいて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け | 継続 | 各種イベントにおいて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け |
| | (一社)日本自動車連盟愛知支部 | ①実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会を実施。車両に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレーニングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得を目指す。名古屋市共催：10月8名参加、11月9名参加 ②あいちエコドライブキャンペーン…マイカーを使って燃費を計測し、エコドライブ動画でレクチャーを受けた後に、もう一度燃費を計測し報告。エントリーも実施報告もWEBを使用する。エコドライブは燃費だけではなく交通安全にも寄与することもアピールした。共催：愛知県環境局 (9/8～2023/1/15) | 継続 | ①今年度は、名古屋市と共催でエコドライブマスター認定講習を実施。講習を受講後レポートの提出でエコドライブマスター認定証を発行。12/5オンライン講習 (ZOOM生配信) 75名受講38名レポート提出がありマスター認定。12/12～2/23までは、専用動画受講後レポート提出にて認定89名応募、動画視聴86名、18名レポート提出にて認定 (2/1現在) ②あいちエコドライブキャンペーン…今年度から完全オンライン化。参加者はJAFのウェブページにて、自身の運転と燃費の状況を把握→「エコドライブ10のすすめ」でエコドライブのポイントを学習→エコドライブ実践動画を視聴→アンケート回答 (エコクイズあり) →自身の運転でエコドライブを実践。以上の導線を実施。アンケートもJAFのウェブページを使用。エコドライブは燃費だけではなく交通安全にも寄与することもアピール。アンケート回答数：205 共催：愛知県環境局 (2023/7/21～2023/12/31) | 継続 | |
| | | | 新規 | オリジナルブルバックレッカーを専用コースで走らせ、親子連れの参加者へエコドライブ10のすすめのひとつである「ふんわりアクセルeスタート」を学んでもらうイベント | 継続 | |
| | (一社)日本自動車工業会 | これまで作成したアニメーションを引き続き活用している。このアニメーション・ツールを更に活用するためエコドライブのeラーニングツール及び、ゲームツールも作成し、提供を継続している。自工会のホームページに掲示するのみならず、地方自治体や関連団体へのエコドライブ啓発活動に提供した。 | 継続 | | 継続 | |
| 愛知県 | | 継続 | JAF愛知支部と共同で「あいちエコドライブキャンペーン」を実施。 | 継続 | 継続予定 | |

(1) エコドライブの実践

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-----------|-----------|--|--------------------------|--|-----------------------|--|
| 6 環境教育の推進 | 中部地方環境事務所 | エコドライブに関する普及啓発 希望者に対し「エコドライブ10のすすめ」リーフレットの配布を行っている。 | 継続 | | 継続 | |
| | 岡崎市 | ○次世代自動車の展示、環境学習 5回実施（5月18日、11月12日、12月3日、1月20日、2月25日） | 継続 | 4回実施（10月28日、11月19日、9月29日～9月30日、2月5日～3月29日） | 継続 | |
| | 春日井市 | 地球温暖化対策に係る季節ごとの重点取組み項目の設定、温対だよりの発行を通じて、公用車のエコドライブを推進 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊川市 | ○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・9/7開催、45人参加 | 継続 | ○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・9/6開催、44人参加 | 継続 | ○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 |
| | 碧南市 | 6月の「環境月間」にあわせ、広報紙で啓発している。 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊田市 | 交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け | 継続 | 交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け | 継続 | 交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け |
| | | 高齢者運転技術講習会にて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け | 継続 | 高齢者運転技術講習会にて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け | 継続 | 高齢者運転技術講習会にて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け |
| | 名古屋高速道路公社 | ○エコドライブの普及促進 ・ラジオCM、公社HP、道路情報板、チラシによる道路環境改善の啓発活動の実施 | 継続 | | 継続 | |
| | 愛知県 | 特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを2回実施。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを3回実施し、チラシ配布による啓発。 | 継続 | 特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを2回実施。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを2回実施し、チラシ配布による啓発。 | 継続 | 特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを4回実施予定。及び国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを4回実施予定。 |

(2) エコドライブシステムの普及

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-------------------|----------------|--|--------------------------|-------------------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1 エコドライブ支援システムの普及 | (一社) 日本自動車工業会 | 燃費計などのエコドライブツールの装着に積極的に取組んだ。その結果、2022年に販売された乗用車については、ほぼすべての車種でエコドライブツールが装着された。 | 継続 | | 継続 | |
| | (トヨタ自動車㈱) | ○乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売 | 継続 | ○乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売 | 継続 | ○乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売 |
| | 豊田市 | エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発 | 継続 | エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発 | 継続 | |
| | (一社) 愛知県トラック協会 | ○グリーン経営認証取得助成 取得費用の一部を補助する（新規10件 更新83件） | 継続 | 受付中 | 継続 | |
| | (一社) 日本自動車工業会 | 一部のトラックメーカーにおいてではあるが、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を開催。 | 継続 | | 継続 | |

5 交通需要の調整・低減

(1) 物流の改善

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|--------------|--------|---|--------------------------|---|-----------------------|--|
| 1 物流の改善 | トヨタ自動車 | ○九州で物流改革着手（CJPT、イオン） ○物流改善・カーボンニュートラルの取り組みの検討開始 | | | | |
| 2 モーダルシフトの促進 | 中部運輸局 | 「モーダルシフト等推進事業」の推進により、CO2排出原単位の小さい輸送手段への転換を推進し低炭素型の物流体系の構築を図る。 | 継続 | | | |
| 3 積載率の向上等の徹底 | 春日井市 | 環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、最大積載量の遵守、燃費管理の徹底を推進 | 継続 | | 継続 | |
| 5 物流拠点等の整備促進 | 中部運輸局 | 「物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(2005(H17)年7月公布、2005(H17)年10月施行、2016(平成28)年10月改正)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定（愛知県内認定件数：7件） | 継続 | 「物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(2005(H17)年7月公布、2005(H17)年10月施行、2016(平成28)年10月改正)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定（愛知県内認定件数：1件） | | |

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|--------------------|---|--|--|--|-----------------------|---|
| 1 公共交通機関の整備及び維持・充実 | 中部地方環境事務所 | ○地球温暖化に資する国民運動「COOL CHOICE」の推進のうち、公共交通の利用促進「smart move（スマートムーブ）」普及啓発事業 | 継続 | | 継続 | |
| | | | 新規 | 次世代自動車の選択をデコ活（新しい豊かな暮らしを創る国民運動）に位置づけ、これらへの転換を推進している。 | 継続 | |
| | 名古屋市 | ○地域巡回バスの運行時間帯拡大 平成27年4月より、地域巡回バス全22系統において、従来の8往復（9時台～16時台）に加え1往復（8時台または17時台）を増便 | 継続 | | 継続 | |
| | | ○バス停留所の整備 ・照明付き標識46基、上屋18基、ベンチ23基の整備（新設・更新） ・基幹バス2号シェルター改修1基 | 継続 | ・照明付き標識69基、上屋17基およびベンチ27基の整備（新設・更新） ・基幹バス2号シェルターの改修 | 継続 | ・照明付き標識 83基、上屋25基およびベンチ25基の整備（新設・更新） ・基幹バス2号シェルターの改修 |
| | 豊橋市 | ○鉄軌道施設安全対策事業費補助 ○軌道敷整備事業費補助 鉄軌道事業者への支援 | 継続 | | 継続 | |
| | | ○夏休み小学生50円バス実施 小学生の路線バスの利用促進を図るため、夏休み期間中に交通事業者及び東三河各市町村が連携して、東三河の路線バスのこども運賃を1乗車一律50円とする | 継続 | | 継続 | |
| | | ○MaaS推進 公共交通の利便性向上を図るため、公共交通におけるMaaSアプリとの連携に係る費用を助成 | 継続 | ○MaaS推進 公共交通の利便性向上を図るため、公共交通におけるMaaSアプリとの連携に係る費用を助成 | 継続 | ・MaaSアプリの啓発に係る費用を助成 |
| 岡崎市 | ○公共交通機関の利用促進 11月上旬に公共交通機関に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行う（新型コロナウイルス感染拡大により中止） | 継続 | ○公共交通機関の利用促進を図るイベントの実施 2回実施（10月15日、2月18日） ○市広報誌での周知 9月特集記事内にて紹介 | 継続 | | |

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|--------------------|------|--|--------------------------|---|-----------------------|---|
| | | | | | | |
| 1 公共交通機関の整備及び維持・充実 | 一宮市 | i-バスの運行 | 継続 | | 継続 | |
| | | i-バスミニの運行 | 継続 | | 継続 | |
| | 半田市 | 地域公共交通会議の開催 | 継続 | | 継続 | |
| | | 地区路線バスの整備 ※地区路線バス6線を運行、新たに交通空白地域にタクシーを利用した公共交通制度を整備 | 継続 | | 継続 | |
| | 春日井市 | 地球環境にやさしい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発 | 継続 | | 継続 | |
| | | 次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「かすがいエコオフィス」と認定し、その取組みを促進 | 継続 | | 継続 | |
| | | かすがいシティバスの運行 | 継続 | | 継続 | |
| | | 北部オンデマンドバスの運行 | 継続 | | 継続 | |
| | | 愛知環状鉄道整備改修費補助金 コロナ禍で経営状況が急激に悪化する中で、安全安定輸送、利便性向上のために必要な設備の更新に対する補助金の交付 | 継続 | | 継続 | |
| | | モビリティ・マネジメント 公共交通の利用増進に資する具体的な動機付け方策の案としてロードマップを作成 | 継続 | モビリティ・マネジメント 地域の実情に即したモビリティ・マネジメントとして、公共交通を利用したくなる動機付けの手法を検討し、実施 | 継続 | |
| | 豊川市 | ○コミュニティバス10路線を運行し、その利用促進策として「1日フリー乗車券の通年発売」、「夏休み小学生50円バス」等を実施。 ・夏休み小学生50円バス ・整理券ラリー・歴史謎解きゲーム ・夏休み路線バス探検キャラバン ・1日フリー乗車券通年販売 ・コミュニティバス体験乗車会 ・コミュニティバス乗り方教室 | 継続 | | 継続 | |
| | 津島市 | ○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行をした。 | 継続 | ○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行をした。 | 継続 | ○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行を実施。 |
| | 碧南市 | くるくるバス（市内巡回バス）を4路線に分け、運賃無料で運行している。 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊田市 | 効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。 | 継続 | 効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。 | 継続 | |

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|--------------------|---|--|---|--|--|---------------------------------------|
| 1 公共交通機関の整備及び維持・充実 | 西尾市 | コミュニティバス(六万石くるりんバス、いっちゃんバス)の運行事業委託 | 継続 | | 継続 | |
| | | ・名鉄西尾・蒲郡線の利用促進 市民応援団に利用促進業務を委託。また、利用者数増進のため、団体・親子に対し運賃補助。 (団体：66団体、親子：360件963人) ・鉄道施設維持管理費を負担 | 継続 | | 継続 | |
| | 新城市 | ○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 高速乗合バス事業を実施（新城～藤が丘） | 継続 | | 継続 | |
| | 日進市 | コミュニティバス（くるりんばす）の運行 | 継続 | | 継続 | |
| | | スクールバスを学生利用の少ない時間帯に有料で市民が利用できるよう、大学と連携協力に関する協定を締結 | 継続 | | 継続 | |
| | | 自動運転バスの実証実験を実施 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊山町 | 地域公共交通会議の開催 | 継続 | 地域公共交通会議の開催 | 継続 | 地域公共交通会議の開催 |
| | | | 新規 | 高齢者割引の短期間の試行の実施 | 継続 | 高齢者割引の短期間の試行の実施 |
| | | | | | 新規 | 「あいち県民の日」に伴うとよやまタウンバス1日無料デーの実施 |
| | 蟹江町 | 町内をオレンジコース、グリーンコースの2ルートにて巡回バス運行 | 継続 | 町内をオレンジコース、グリーンコースの2ルートにて巡回バス運行 | 継続 | 町内をオレンジコース、グリーンコースの2ルートにて巡回バス運行 |
| | 名古屋高速道路公社 | ○名古屋高速道路の建設・管理 名古屋第二環状自動車道と一体となった自動車交通網の骨格の形成による自動車交通の円滑化及び平面街路との機能分離 | 継続 | ○都心アクセス関連事業の継続整備 | 継続 | ○都心アクセス関連事業の継続整備 |
| | 愛知県道路公社 | ○自動運転バスの実証実験の環境提供 ・中部国際空港連絡道路 磁気マーカ設置 | 継続 | | 継続 | |
| | トヨタ自動車 | | 新規 | ○BRTひこぼしラインでFCバス実証運転を実施(CJPT、JR九州、トヨタ) | | |
| | NPO法人ボランティアネイバース | 公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用） | 継続 | 公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用） | 継続 | 公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用・イベント開催時の参加者） |
| 愛知県 | ○ 広域バス路線利用促進モデル事業 市町村や交通事業者等との連携による広域的・幹線的なバス路線の維持に向けた利用促進の取組を実施 | 継続 | ○ 広域バス路線利用促進モデル事業 市町村や交通事業者等との連携による広域的・幹線的なバス路線の維持に向けた利用促進の取組を実施 | 終了 | | |
| | | | | 新規 | ○新モビリティサービス推進事業 ・複数市町村の連携による周遊や交流の促進、市町村域をまたぐ公共交通空白地域の移動課題の解決に向けてモデル事業を実施し、MaaSや新型輸送サービスの普及促進を図る。 | |

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|----------------|------|--|--------------------------|--|-----------------------|--|
| 2 乗合バス事業者等への補助 | 豊橋市 | ○路線維持費補助金 路線バスへの支援 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊橋市 | ○コミュニティバス運行事業費補助 公共交通空白地域における高齢者等の移動手段を確保する | 継続 | | 継続 | |
| | 岡崎市 | ○不採算バス路線の確保維持 不採算バス路線の確保維持を行い、地域住民の生活交通の確保維持を行った | 継続 | | 継続 | |
| | 一宮市 | バス路線維持対策補助金 | 継続 | | 継続 | |
| | 半田市 | 路線バス運行事業者への運行経費及び、運賃差額（市内のみ片道運賃上限を設定しているため）補助金の交付 | 継続 | | 継続 | |
| | 春日井市 | 廃止代替路線補助 名鉄バスの運行する東野線・玉野台循環線に欠損が生じた際に補助金を交付 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊川市 | ・地方バス路線運行対策費補助金を広域バス路線の運行事業者である豊鉄バス（新豊線・豊川線）へ交付 | 継続 | | 継続 | |
| | 碧南市 | 乗合バス事業者（ふれんどバス）に対する補助を実施 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊田市 | 対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施 | 継続 | 対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施 | 継続 | |
| | 西尾市 | 乗合バス事業者（ふれんどバス、名鉄東部交通バス）に対する補助を実施 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊山町 | バス運行補助負担金（路線バスの支援） | 継続 | バス運行補助負担金（路線バスの支援） | 継続 | バス運行補助負担金（路線バスの支援） |
| 愛知県 | | （1）乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス路線を確保するため、欠損額等について補助した。 乗合バス 3路線 市町村営バス 34路線 （2）運行車両購入に対する補助 三河山間地域のうち、財政力指数が0.5未満の町村（設楽町、東栄町、豊根村）の補助対象路線（国庫補助金の交付を受ける路線の車両は補助対象外）に対し、車両購入費の一部を補助した。 | 継続 | （1）乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス路線を確保するため、欠損額等について補助した。 乗合バス 3路線 市町村営バス 31路線 （2）運行車両購入に対する補助 三河山間地域のうち、財政力指数が0.5未満の町村（設楽町、東栄町、豊根村）の補助対象路線（国庫補助金の交付を受ける路線の車両は補助対象外）に対し、車両購入費の一部を補助する（2023年度は補助実績なし。）。 | 継続 | （1）乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス路線を確保するため、欠損額等について補助する。 乗合バス 3路線（予定） 市町村営バス 31路線（予定） （2）運行車両購入に対する補助 三河山間地域のうち、財政力指数が0.5未満の町村（設楽町、東栄町、豊根村）の補助対象路線（国庫補助金の交付を受ける路線の車両は補助対象外）に対し、車両購入費の一部を補助する。 |
| | | ○ 乗合バス事業者への補助 地域住民の生活の足の確保・維持を目的として、広域的・幹線的なバス路線を運行する乗合バス事業者に対し、欠損額等について助成する。（5事業者へ交付） | 継続 | ○ 乗合バス事業者への補助 地域住民の生活の足の確保・維持を目的として、広域的・幹線的なバス路線を運行する乗合バス事業者に対し、欠損額等について助成する。（5事業者へ交付予定） | 継続 | |

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 |
|---------------------|------|---|--|-----------------------------|
| 3 交通結節点の改善 | 春日井市 | 名鉄春日井駅自由通路の詳細設計を実施 | 継続 名鉄春日井駅自由通路の都市計画手続きを実施 | 継続 名鉄春日井駅自由通路の工事を実施 |
| | 豊田市 | 豊田市駅バス乗降口整備の詳細設計及び関係機関協議 | 継続 豊田市駅バス乗降口整備の詳細設計及び関係機関協議 | 継続 豊田市駅バス乗降口整備工事及び関係機関協議 |
| | 碧南市 | 交通結節点の改善 碧南駅前の整備 碧南駅前線の拡幅工事 | 継続 (碧南駅前の整備：令和5年度まで継続) | 継続 (碧南駅前線拡幅工事：令和8年度まで継続) |
| 4 パーク・アンド・ライド駐車場の整備 | 名古屋市 | ○パークアンドライド駐車場の整備及び利用促進 ・認定制度による民間駐車場の有効活用 ・ウェブサイトによる認定パークアンドライド駐車場の広報 | 継続 | 継続 |
| | 碧南市 | 市内3ヶ所のパークアンドライドを維持管理している。 収容台数：84台（30台、32台、22台） | 継続 市内3ヶ所のパークアンドライドを維持管理している。 収容台数：83台 （北新川駅29台、六軒町32台、碧南駅22台） | 継続 |
| | 豊田市 | 愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用 | 継続 愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用 | 継続 |
| | 西尾市 | 名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を図るため、福地駅南駐車場・福地駅東駐車場をパークアンドライド駐車場として利用。※新規記載 | 継続 | 継続 |
| | 愛知県 | 桃花台線旧車両基地用地の一部をパーク&ライド駐車場として活用 中央道高速バスの停留所に隣接する桃花台線旧車両基地用地（愛知県と小牧市の共有地）の一部を駐車場事業者へ貸付し、パーク&ライド駐車場として活用。 | 継続 | 継続 |

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | | |
|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 5 バリアフリー化の促進 | 中部運輸局 | 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、ハード面では施設や車両等のバリアフリー化の補助事業による推進、ソフト面では誰もが自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」の啓発事業により、公共交通機関の利便性及び安全性の向上に取り組む。 | 継続 | | | | |
| | 名古屋市 | ○車両・施設の整備改良等 ・鶴舞線への可動式ホーム柵整備に向けた設計 ・鶴舞線可動式ホーム柵の設置に向けた電気設備の改修等 ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入 鶴舞線車両1編成 135編成中113編成(83.7%) | 継続 | ・鶴舞線可動式ホーム柵の整備に伴う工事等 | 継続 | ・鶴舞線可動式ホーム柵の製造及び設置 順次稼働 庄内緑地公園駅から丸の内駅の5駅 | |
| | | ○施設の整備 ・エレベーターの整備 継続3駅（伏見駅、御器所駅、本山駅） 新規2駅（新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅） | 継続 | ・エレベーターの整備 継続5駅（伏見駅、御器所駅、本山駅、 新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅） | 継続 | ・エレベーターの整備 継続5駅（伏見駅、御器所駅、本山駅、 新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅） 新規1駅（本郷駅） | |
| | | ○地下鉄駅施設の整備 ・トイレリニューアル等による整備 9駅（伏見駅、桜山駅、黒川駅、名古屋港駅、 藤が丘駅、浄心駅、中村区役所駅、国際セ ンター駅、砂田橋駅） ・トイレリニューアルの設計 8駅（今池駅、鶴舞駅、丸の内駅、ナゴヤド ーム前矢田駅、一社駅、高畑駅、車道駅、 名古屋大学駅） | 継続 | ・トイレリニューアル等による整備 7駅（今池駅、鶴舞駅、丸の内駅、ナゴヤド ーム前矢田駅、一社駅、車道駅、 名古屋大学駅） ・トイレリニューアルの設計 7駅（名古屋、瑞穂運動場西、新瑞橋、本山、原、 いりなか、堀田） | 継続 | ・トイレリニューアル等による整備(予定) 瑞穂運動場西駅始め8駅9箇所 ・トイレリニューアルの設計（予定） 名古屋駅始め8駅8箇所 | |
| | | ○地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 ・地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 6両導入 782両中782両(導入率100%) | 終了 | | | | |
| | | ○ノンステップバスの導入 ・バス車両更新においては引続きノンステップバスとする。 | 継続 | | | 継続 | |
| | ○名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の解消 ・2番から17番乗降口の改修 5駅（久屋大通駅、市役所駅、新瑞橋駅、伝馬町駅、神宮西駅） | 継続 | ○名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の解消 ・2番から17番乗降口の改修(予定) 5駅（大曽根駅、ナゴヤドーム前矢田駅、堀田駅、 妙音通駅、西高蔵駅） | 継続 | ○名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の解消 ・2番から17番乗降口の改修(予定) ・6駅（金山駅、六番町駅、東海通駅、港区役所駅、築地口駅、名 古屋港駅） | | |
| | 豊橋市 | ○鉄軌道施設バリアフリー化補助 実績なし | 継続 | 実績なし | 継続 | 事業者のバリアフリー化工事に合わせて実施予定 | |
| | 春日井市 | 名鉄春日井駅のバリアフリー化等に関する詳細設計を実施 | 継続 | 名鉄春日井駅のバリアフリー化等に関する関係機関協議を実施 | 継続 | 名鉄春日井駅のバリアフリー化等に関する工事を実施 | |
| | 碧南市 | 車椅子対応可のコミュニティバスを運行 | 継続 | | 継続 | | |
| 豊田市 | 基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新 | 継続 | 基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新 | 継続 | | | |
| 6 利用者のニーズにあった運賃制度の導入等 | 名古屋市 | ○「ドニチエコきっぷ」の発売 平成18年4月より、土日休日、環境保全の日（毎月8日）及び土日休日ダイヤ特別運行日専用の市バス・地下鉄一日乗車券を、通常の市バス・地下鉄の一日乗車券よりも安価な620円で発売(2019年9月30日までは600円) ○地下鉄全線24時間券の販売 2019年5月27日から、地下鉄全線一日乗車券に代わり、地下鉄が24時間乗り放題となる、地下鉄全線24時間券を販売。 | 継続 | | 継続 | | |
| | 半田市 | 公共交通バスを利用しやすい運賃制度の実施 ※運賃上限や各種割引制度（障がい者無料等）の導入 | 継続 | | 継続 | | |
| | 豊川市 | ・1日フリー乗車券通年販売 内容：市内バス路線全線が1日乗り放題となる乗車券を通年販売 | 継続 | | 継続 | | |

(3) 自動車利用方法の改善、多様化

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-------------------------------|-----------------------------------|--|--|---|----|
| 1 次世代自動車等先進エコカーによるカーシェアリングの推進 | 豊田市 | 超小型電気自動車のシェアリング公用車併用モデル（平日：公用車、休日：シェアリング）運用を実施。（サービス名：トヨタシェア） | 継続 | 超小型電気自動車のシェアリング公用車併用モデル（平日：公用車、休日：シェアリング）運用を実施。（サービス名：トヨタシェア） | 継続 |
| | トヨタ自動車 | | 新規 ○新サブスクサービス「KINTO Unlimited」を新型プリウスより提供開始 ○購入後もクルマが進化する「アップグレード」サービスを開始・購入後もクルマが進化する「アップグレード」サービスを開始 | | |
| 3 自動車利用の抑制・平準化 | 名古屋高速道路公社 | ○自動車専用道路への利用転換を図るための割引の実施 ETC夜間割引の実施 | 継続 | | 継続 |
| 4 エコ通勤・エコ通学の促進 | 中部運輸局 | 「エコ通勤優良事業所認証制度」の普及促進 | 継続 | | |
| | 一宮市 | 月1回のノーカーデーの実施 | 継続 | | 継続 |
| | 春日井市 | 地球環境にやさしい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発 | 継続 | | 継続 |
| | | 自動車利用の抑制及びエコドライブの推進など、環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、従業員へのエコ通勤を励行 | 継続 | | 継続 |
| | 碧南市 | 職員のエコ通勤を推進 | 継続 | | 継続 |
| | 日進市 | ○エコモビリティライフの推進 毎月第1水曜日「エコモビの日」とし、市職員に対して自転車や徒歩、公共交通機関利用を啓発。12月に「エコモビ推進キャンペーン」を実施し、広報での啓発や、市内店舗と協力して事業を実施した。 | 継続 | | 継続 |
| 蟹江町 | 県内一斉エコ通勤デーに合わせ職員のエコ通勤を職員用ポータルにて促進 | 継続 | 県内一斉エコ通勤デーに合わせ職員のエコ通勤を職員用ポータルにて促進 | 県内一斉エコ通勤デーに合わせ職員のエコ通勤を職員用ポータルにて促進 | |

(3) 自動車利用方法の改善、多様化

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|----------------------|------------------|--|--------------------------|--|-----------------------|---|
| 5 EVを活用したスマートグリッドの検討 | (一社) 中部経済連合会 | ○スマートグリッド（マイクログリッド）の啓発 脱炭素取り組みに興味ある自治体と企業とのマッチングを実施。EV導入を含めた地域脱炭素取り組みの提案を継続的に実施。良好事例については自治体、企業に対し横展開。 | 継続 | | | |
| 7 「エコ モビリティ ライフ」の推進 | 豊橋市 | ええじゃないかカーフリーデー 9/17実施 (モビリティウィーク9/16～22) | 継続 | 2023 9/23実施 | 継続 | |
| | 津島市 | ○「エコモビリティライフ」の推進 「エコモビ」を推進するために、毎月第3木曜日を「エコモビの日」として設定。「自家用車」の使用をできるだけ避け、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を実践していただくように推進した。 | 継続 | ○「エコモビリティライフ」の推進 「エコモビ」を推進するために、毎月第3木曜日を「エコモビの日」として設定。「自家用車」の使用をできるだけ避け、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を実践していただくように推進する。 | 継続 | ○「エコモビリティライフ」の推進 「エコモビ」を推進するために、毎月第3木曜日を「エコモビの日」として設定。「自家用車」の使用をできるだけ避け、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を実践していただくように推進する。 |
| | 豊山町 | あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加 | 継続 | あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加 | 継続 | あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加 |
| | (公社) 愛知県バス協会 | 「エコモビリティライフ」の推進 | 継続 | | 継続 | |
| | NPO法人ボランティアネイバーズ | エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティライフ推進協議会委員として啓発活動 | 継続 | エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティライフ推進協議会委員として啓発活動 | 継続 | エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティライフ推進協議会委員として啓発活動 |
| | 愛知県 | ・県内企業・団体等が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン2022」を実施 ・県内企業等に対し、「エコモビ」の実践的な取組を推進するに当たり、役立つ情報や、積極的に取り組んでいる企業等における具体的な実践例を紹介する「エコモビ実践セミナー」を開催 ・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 (「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(事務局:交通対策課)の活動) | 継続 | ・県内企業・団体等が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン2023」を実施 ・県内企業等に対し、「エコモビ」の実践的な取組を推進するに当たり、役立つ情報や、積極的に取り組んでいる企業等における具体的な実践例を紹介する「エコモビ実践セミナー2023」を開催 ・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 (「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(事務局:交通対策課)の活動) | 継続 | |

(4) 自転車等の利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|------------------------|---------|---|--|---|---|
| 1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等 | 中部地方整備局 | 【名国】自転車通行空間の整備 国道19号 名古屋市中区大須地区、中区金山地区において、自転車通行空間を整備。 | 継続 【名国】自転車通行空間の整備 国道22号 名古屋市中区丸の内地区内において、自転車通行空間を整備。 | 継続 【名国】自転車通行空間の整備 国道22号 名古屋市中区丸の内地区内において、自転車通行空間を整備予定 | |
| | | 【名国】歩道の整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、歩道を整備（L=0.05km） | 継続 【名国】歩道を整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、歩道を整備（L=0.1km） | 継続 【名国】歩道の整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、歩道を整備予定 | |
| | 名古屋市 | ○自転車通行空間の整備：整備道路延長6.1km（市道豆田町線、市道木挽通、市道七間町通、今池四丁目・今池五丁目・仲田二丁目地内） ○自転車駐車場の整備：上前津駅、丸の内駅、栄地区 | 継続 ○自転車通行空間の整備：整備道路延長9.8km（市道木挽町通始め3路線、市道七間町通、内山三丁目・今池一丁目地内） ○自転車駐車場の整備：上前津駅、丸の内駅、栄地区 | 継続 ○自転車通行空間の整備 ○自転車駐車場の整備 | |
| | 豊橋市 | 「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=3116 m | 継続 「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=700 m～ | 継続 | |
| | 一宮市 | 一宮市自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間を整備 2022年度 計 0.8 km 市道0132号線 0.2 km 市道0133号線 0.6 km 2022年度までの累計 2.9 km | 継続 一宮市自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間を整備 2023年度 計 0.6 km 市道0114号線 0.6 km ※交差点、側溝改良を実施 2023年度までの累計 2.9 km | 継続 一宮市自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間を整備 2024年度以降 計 1.6 km 市道0133号線 0.5 km 市道0114号線 1.1 km | |
| | | | | 新規 ○歩道の整備 （都）西御堂線 L=140m | |
| | 春日井市 | 自転車通行帯の設計 | 継続 自転車通行帯の設計、整備 | 継続 | |
| | | 自転車駐車場の管理について 利用しやすい環境をつくるため、自転車の整理及び適切な維持管理を実施している 自転車等駐車場の整備 JR神領駅南口周辺において自転車駐車場の整備を実施 | 継続 | 継続 自転車等駐車場の整備 JR高蔵寺駅北口において自転車駐車場の整備を実施 | |
| | 豊川市 | 歩道の整備（市道足山田大木線） 調査計画 | 継続 | 継続 歩道整備（L=20m） | 継続 用地取得及び物件補償 歩道整備（L=260m） |
| | | 歩道の整備（市道西方御津紡線） 調査計画 | 継続 | | 継続 歩道整備（L=20m） |
| | | 歩道の整備（都市計画道路宿樽井線（市田野口工区）） 用地取得及び物件補償 | 継続 | | 継続 用地取得及び物件補償 歩道整備（L=310m） |
| | | 歩道の整備（都市計画道路桜町千両線） 歩道整備（L=400m） | 終了 | | |
| | 愛知県 | 歩道の整備（都市計画道路伊奈美和通線） 調査計画 | 継続 | | 継続 調査計画 用地取得及び物件補償 歩道整備（L=210m） |
| | | ○歩道、自転車通行帯の整備等 主要地方道安城碧南線・安城市和泉町始め101箇所において、歩道、自転車通行帯等を整備 | 継続 | ○歩道、自転車通行帯の整備等 主要地方道安城碧南線・安城市和泉町始め97箇所において、歩道、自転車通行帯等を整備 | 継続 ○歩道、自転車通行帯の整備等 主要地方道安城碧南線・安城市和泉町始め97箇所において、歩道、自転車通行帯等を整備 |

(4) 自転車等の利用促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|------------------------|----------------------------|---|----------------------------|--|----------------------------|--------------------------------|
| 2 自転車利用の促進 | 豊橋市 | ○電動アシスト自転車購入補助金 免許証を自主返納した高齢者で、電動アシスト自転車購入者への補助（87台） | 継続 | | 継続 | |
| | | ○サイクルピットの維持管理 ・サイクルピットに設置されたサイクルラックを経年による劣化防止のため、塗装を実施した。（10基） ○サイクルピットの利用状況確認 | 継続 | ○サイクルピットの維持管理 ・サイクルピットに設置されたサイクルラックを経年による劣化防止のため、塗装を実施した。（14基） ○サイクルピットの利用状況確認 | 継続 | ○サイクルピットの利用状況確認 |
| | | ○デジタルサイクリングマップ導入 サイクリングルートやスポット情報等がスマートフォンで分かるデジタルサイクリングマップを作成するとともに、利用啓発を図るイベント実施 | 継続 | ・デジタルサイクリングマップ体験型サイクリングイベントの実施 | 継続 | ・デジタルサイクリングマップ体験型サイクリングイベントの実施 |
| | 春日井市 | 地球環境にやさしい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発 | 継続 | | 継続 | |
| | | 2018年度に生活保護世帯への訪問時等に利用する目的で導入した公用自転車を継続的に利用している。 | 継続 | | 継続 | |
| | | レンタサイクル 放置自転車をリサイクルすることで、廃棄物の減量を図りつつ、市民の移動支援を行う | 継続 | | 継続 | |
| | 碧南市 | 公用自転車の活用 | 継続 | | 継続 | |
| NPO法人ボランティア リーネイバーズ | 自転車利用の促進（スタッフ通勤・近距離の社用時利用） | 継続 | 自転車利用の促進（スタッフ通勤・近距離の社用時利用） | 継続 | 自転車利用の促進（スタッフ通勤・近距離の社用時利用） | |
| 3 自転車共同利用の促進 | NPO法人ボランティア リーネイバーズ | 自転車共同利用の促進 | 継続 | 自転車共同利用の促進 | 継続 | 自転車共同利用の促進 |
| 4 パーソナルモビリティの普及 | 豊田市 | とよたエコフルタウン内や、イベント時の体験試乗等を通して、パーソナルモビリティ含む次世代モビリティの普及啓発を行う。 | 継続 | とよたエコフルタウン内や、イベント時の体験試乗等を通して、パーソナルモビリティ含む次世代モビリティの普及啓発を行う。 | 終了 | |

6 交通流対策の推進

(1) 通過・流入交通の分散、回避

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|---------------------|--|--|--|---|--|---|
| 1 環状道路、バイパスの整備 | 中部地方整備局 | 【愛国】環状道路の整備 名古屋環状2号線の整備 | 継続 | | 継続 | |
| | | 【愛国】バイパスの整備 国道41号名濃バイパスの整備 | 継続 | 2024年（令和6年）2月20日6車線化全線完成 | 終了 | |
| | | 【愛国】バイパスの整備 西知多道路（東海JCT）の整備 | 継続 | | 継続 | |
| | | 【名四】バイパスの整備 国道23号名豊道路の整備 | 継続 | | 継続 | |
| | | 【名四】バイパスの整備 国道153号豊田北バイパスの整備 | 継続 | | 継続 | |
| | | 【名四】バイパスの整備 国道155号豊田南バイパスの整備 | 継続 | | 継続 | |
| | | 【名四】バイパスの整備 西知多道路（長浦～日長）の整備 | 継続 | | 継続 | |
| | 中日本高速道路(株)名古屋支社 | 交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC | 継続 | 交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC | 継続 | 交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC |
| 愛知県道路公社 | ○インターチェンジの新規整備 ・武豊北IC（仮称） | 継続 | ○インターチェンジ等の新規整備 ・武豊北IC ・西知多道路 ・大府西連結路（仮称） | 継続 | | |
| 名古屋高速道路公社 | ○自動車専用道路における交通分散を図るための料金の設定（名古屋高速道路公社）（NEXCO中日本） 名古屋都心流入割引・名二環迂回料金の実施 | 継続 | | 継続 | | |
| （一社）中部経済連合会 | ○広域幹線道路網の整備推進愛知県などと共に国等に対し「中部圏交通ネットワークビジョン」を基に、広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。 | 継続 | | 継続 | ○広域幹線道路網の整備推進 愛知県などと共に国等に対し「中部圏交通ネットワークビジョン」を基に、広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。 | |
| | | 新規 | 新たな国土形成計画で重要視されている「日本中央回廊」の効果最大化に向けた道路ネットワーク整備について検討・とりまとめ | 継続 | | |
| 愛知県 | 県内27箇所、街路事業を実施。 | 継続 | 県内31箇所、街路事業を実施。 | 継続 | 継続実施（箇所数未定） 2024年度以降も街路事業を実施予定。 | |
| 2 立体交差事業等の推進 | 名古屋市 | ○道路と鉄道の立体交差化 単独立体交差事業の実施 ・都計守山本通線と名鉄瀬戸線 ・名鉄名古屋本線呼続地区 | 継続 | | 継続 | ○道路と鉄道の立体交差化 連続立体交差事業の実施 ・名鉄名古屋本線（桜駅～本星崎駅間） |
| | 愛知県 | ○連続立体交差事業等の推進 知立市、半田市において連続立体交差事業を実施。 | 継続 | | 継続 | |
| | | ○交差点改良 一般県道安城知立線、知立市谷田町谷田交番前交差点始め40箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施 | 継続 | ○交差点改良 主要地方道あま愛西線、あま市坂牧 坂牧東交差点始め36箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施 | 継続 | ○交差点改良 主要地方道あま愛西線、あま市坂牧 坂牧東交差点始め34箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施 |
| 3 駐車違反車両の取締強化、啓発の実施 | 愛知県警察本部 | ○ 交通事故や交通渋滞を誘発する悪質な違法駐車に対する取締りを重点的に実施 | 継続 | | 継続 | |
| 4 幹線道路における交通規制の実施 | 愛知県警察本部 | 1 交通実態に応じた信号システムの充実と見直し 2 交通規制等の見直し | 継続 | | 継続 | |

(2) ITSを活用した環境負荷の少ない交通システムの構築促進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-----------------------|-----------|---|--------------------------|---|-----------------------|-------------------------------------|
| | トヨタ自動車 | | 新規 | ○無人ダンプトラック運行システム上で自動走行するライトビークルを開発へ -鈺山オペレーション全体の自動化・自律化の実現加速に向け協業開始-(コマツ、トヨタ) | | |
| 1 ETCの新たな利活用方法の検討 | 愛知県道路公社 | ○ETCを活用した通勤時間帯割引 ・知多半島道路の通行料金を3割引（6時～9時、17時～20時） | 継続 | | 継続 | |
| 4 ITS総合情報提供基盤の整備 | 豊田市 | 「みちなびとよた」にてバス運行情報を提供。 | 継続 | 「みちなびとよた」にてバス運行情報を提供。 | 継続 | 「みちなびとよた」と同等以上の機能を市HPに移行し、サービスを継続 |
| | 名古屋高速道路公社 | ○高速道路等情報サービス施設の整備・運用 ・各種道路情報板（文字情報板・所要時間情報板等）による情報提供 ・ラジオによるハイウェイ（道路）情報の提供 ・ETC2.0による情報提供 ・ホームページによる混雑情報の提供 ・ハイウェイテレホンによる情報提供 ・名古屋高速お客様センターにて各種問合せに対応 ・スマホサイトによる所用時間情報等の提供 | 継続 | | 継続 | |
| 5 プローブ情報の活用促進 | 豊田市 | プローブ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故等対策を実施。 | 継続 | プローブ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故等対策を実施。 | 継続 | プローブ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故等対策を実施。 |
| 6 渋滞、駐車場、大気汚染等各種情報の提供 | 名古屋高速道路公社 | ○渋滞対策の検討・実施 | 継続 | | 継続 | |
| | 豊田市 | 駐車場案内システムを引き続き運用 | 継続 | 駐車場案内システムを引き続き運用 | 継続 | |
| | 愛知県 | 道路沿道環境状況予測システム運営 名古屋南部地域及び岡崎・安城地域を対象として、NO2及びSPMの日平均濃度が、環境基準を超過すると予測される場合、道路交通情報板を用いて道路沿道の大気汚染状況等の環境情報の提供を行った。 【実績】情報提供 0回 | 継続 | 【実績】情報提供0回 | 継続 | |
| | 愛知県 | 「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム（6月30日）等を実施。 （愛知県ITS推進協議会（事務局：交通対策課）の活動） | 継続 | 「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム（5月16日）等を実施。 （愛知県ITS推進協議会（事務局：交通対策課）の活動） | 継続 | |

7 自動車交通集中地域等の対策の推進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|--------------------|---------|---|--------------------------|---|-----------------------|--|
| 1 自動車交通集中地域等の対策の推進 | 中部地方整備局 | 【名国】自動車交通集中地域等の対策の推進 愛知県道路交通渋滞対策推進協議会を開催(9月) | 継続 | 【名国】自動車交通集中地域等の対策の推進 愛知県道路交通渋滞対策推進協議会を開催(8月) | 継続 | |
| | 愛知県警察本部 | ○ 愛知県道路環境対策連絡会議における取組の推進 | 継続 | | 継続 | |
| | 名古屋市 | ○常時観測局の測定結果の公表 ・市WEBサイトにおいて、毎月の大気汚染常時監視速報値及び毎年度の確定値を情報提供している。（名古屋高速道路及び名古屋環状2号線9局） | 継続 | | 継続 | |
| | 愛知県 | <6-2-6再掲> 道路沿道環境状況予測システム運営 | 継続 | | 継続 | |

8 普及啓発活動の推進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの普及・啓発

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-----------------------------|------|---|--------------------------|--|-----------------------|---|
| 1 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 | 名古屋市 | ○イベントのパレード車 ・なごや商業フェスタの先導車でFCVを利用 | 継続 | | 継続 | |
| | 半田市 | 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※EV：2台購入 | 継続 | 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※EV：1台購入 | 継続 | 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※EV：新規購入予定 |
| | 豊田市 | 「とよたSAKURAプロジェクト」として次世代自動車普及促進事業を展開 【R4取組内容】 (1) 防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 →パートナー制度を活用し、自動車販売店が協力し、地域防災イベントへ出展 (2) 環境関連イベント、環境教育での活用（環境関連施設、学校） (3) エコファミリー支援補助金のPR（次世代自動車、充電設備への補助） (4) 豊田市PRイベントでの活用 (5) 後付け外部給電装置等新規の補助制度実施、自動車メーカーが開発中の配車アプリ（外部給電車両と避難所をマッチングするシステム）を活用した実証実験の実施（10月29日ふじおか防災キャンプ） 【イベント等出展】 猿投地区ふれあいまつり始め 10件 【地域防災訓練等への出展】 自治区等地域で実施される防災訓練をはじめとする行事に外部給電機能を持つ車を配車し、市民に啓発。 御船町自治区自主防災訓練始め 19件（うちパートナー協力6件） | 継続 | 「とよたSAKURAプロジェクト」として次世代自動車普及促進事業を展開 【R5取組内容】（件数は令和6年1月末現在予定しているもの） (1) 防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 →パートナー制度を活用し、自動車販売店が協力し、地域防災イベントへ出展 (2) 環境関連イベント、環境教育での活用（環境関連施設、学校） (3) エコファミリー支援補助金のPR（次世代自動車、充電設備への補助） (4) 豊田市PRイベントでの活用 【イベント等出展】 浄水駅前マルシェ始め 15件 【地域防災訓練等への出展】 自治区等地域で実施される防災訓練をはじめとする行事に外部給電機能を持つ車を配車し、市民に啓発。 御船町自治区自主防災訓練始め 20件（うちパートナー協力11件） | 継続 | |
| | | 燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金 個人向け：1件 事業者向け：2件 | 継続 | 燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金（令和6年1月末時点） 個人向け：2件 事業者向け：2件 | 継続 | |

(1) 次世代自動車等先進エコカーの普及・啓発

| 施策名 | 実施主体 | 2022 (令和4) 年度実施した取組 | 2023 (令和5) 年度実施した取組 (予定も含む) | 2024 (令和6) 年度以降に実施予定の取組 | |
|------------------------|--|--|--|---|--|
| 2 エコカーフェアやモーターショーの企画開催 | 名古屋市 | ○イベントの実施 ・環境デーなごやにおいてFCVの外部給電機能による電力供給を実演及びゼロエミッション車を展示 ・タイヤチェックキャンペーンにおいてFCVの外部給電機能による電力供給を実演 ○出前講座の実施 ・主に小学生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示 | 継続 ○イベントの実施 ・環境デーなごやにおいてFCVの外部給電機能による電力供給を実演及びゼロエミッション車を展示 ○出前講座の実施 ・主に小学生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示 | 継続 | |
| | 豊橋市 | 高等学校エコカーレース総合大会 | 継続 高等学校エコカーレース総合大会 | 継続 高等学校エコカーレース総合大会 開催予定 | |
| | 一宮市 | 電気自動車を使用した環境イベントを日産自動車と共同で開催 10月29日 (22名参加) | 継続 電気自動車を使用した環境イベントを日産自動車と共同で開催 10月29日 (44名参加) | 継続 電気自動車を使用した環境イベントを日産自動車と共同で開催予定 | |
| | 蟹江町 | 新型コロナウイルスの影響により、かにえ町民まつりへはブース不参加 | 継続 かにえ町民まつりに関して、環境に配慮したエコカーの展示 | 継続 かにえ町民まつりに関して、環境に配慮したエコカーの展示 | |
| | (一社) 愛知県トラック協会 | ○2023(令和5)年2月19日、ポートメッセ名古屋(名古屋市)において「第18回トラックFes」を開催 | 終了 令和5年度は開催せず。 | 継続 | |
| | (一社) 日本自動車工業会 | 2022年は東京モーターショーは休催年。コロナ禍の影響もあり、従来から参加してきたイベントの催行中止となるなど、アピールする機会が減少している。 | 継続 2023年は東京モーターショーを改めJapan Mobility Showとして開催。出展各社が次世代自動車の普及をアピールした。 | 継続 2024年はJapan Mobility Showは休催年。政府や自治体のエコカーフェアなどのイベントにおいて各社が次世代自動車の普及をアピールする。 | |
| 愛知県 | EV、PHV、FCVの導入等、あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定。 【2022(R4)年度認定事業所数：3、2004～2022(H16～R4)累計認定事業所数：143】 | 継続 EV、PHV、FCVの導入等、あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定。 【2023(R5)年度認定事業所数：2、2004～2022(H16～R5)累計認定事業所数：145】 | 継続 | | |
| 4 燃料電池自動車の普及 | 名古屋市 | ○イベントの実施 ・環境デーなごやにおいてFCVの外部給電機能による電力供給を実演及びゼロエミッション車を展示 ・タイヤチェックキャンペーンにおいてFCVの外部給電機能による電力供給を実演 ○出前講座の実施 ・主に小学生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示 | 継続 ○イベントの実施 ・環境デーなごやにおいてFCVの外部給電機能による電力供給を実演及びゼロエミッション車を展示 ○出前講座の実施 ・主に小学生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示 | 継続 | |
| | 西尾市 | 環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を実施。 | 継続 環境Wave21において、FCV・EVの展示及び試乗会を実施。 | 継続 | |
| | 豊山町 | 11月12日に環境フェスティバルを開催したが、燃料電池自動車の出展は見送られた。 | 継続 11月11日に環境フェスティバルを開催したが、燃料電池自動車の出展は見送られた。 | 継続 環境フェスティバルを開催し、燃料電池自動車の出展を実施する。 | |
| | (一社) 日本ガス協会(東邦ガス㈱) | あいちFCV普及促進協議会への参画 | 継続 あいちFCV普及促進協議会への参画 | 継続 | |
| | 愛知県 | ○展示・試乗会の開催 メッセナゴヤにて、FCV展示・試乗会の開催(1回) | 終了 | | |
| | | ○次世代自動車フォーラムの開催 メッセナゴヤに併催し、セミナーの開催(1回) | 継続 メッセナゴヤに併催し、開催済 | 終了 | |
| | ○あいちFCV普及促進協議会の開催 開催なし | 継続 ○あいちFCV普及促進協議会の開催 1回開催済 | 継続 | | |

9 道路環境改善対策

(1) 道路構造対策、沿道の環境改善対策の推進

| 施策名 | 実施主体 | 2022（令和4）年度実施した取組 | 2023（令和5）年度実施した取組（予定も含む） | | 2024（令和6）年度以降に実施予定の取組 | |
|-------------|---------------------------------------|---|--------------------------|---|-----------------------|--|
| 1 道路構造対策 | 中部地方整備局 | 【名国】道路構造対策 国道23号港区藤前～緑区大高町地内において、環境施設帯設置事業を実施。 | 継続 | | 継続 | |
| | 名古屋市 | 名古屋市道等の幹線道路にて低騒音舗装を実施（L=約6.9km） | 継続 | 名古屋市道等の幹線道路にて低騒音舗装を実施（L=約6.7km） | 継続 | 名古屋市道等の幹線道路にて低騒音舗装を実施（L=約6.0km） |
| | 半田市 | JR武豊線連続立体交差化事業 | 継続 | | 継続 | |
| | 名古屋高速道路公社 | ○低騒音舗装の実施：リフレッシュ工事 ・高速3号大高線（南行き）11.1km | 継続 | ○リフレッシュ工事 ・高速2号東山線新洲崎JCT～丸田町JCT8.6km | 継続 | ○リフレッシュ工事 ・高速16号一宮線（南行き） 一宮中入口～清洲 JCT8.9km |
| | | ○遮音壁等の設置 遮音壁：178.7km 新型遮音壁：3.9km 裏面吸音板：6.7km 側壁吸音板：2.9km 内面吸音板：0.2km | 継続 | | 継続 | |
| 愛知県 | ○排水性舗装の実施 必要な箇所において、実施する。 | 継続 | | 継続 | | |
| 2 沿道の環境改善対策 | 中部地方整備局 | 【名国】沿道の環境改善対策 国道23号通行ルール周知の広報を実施。 | 継続 | | 継続 | |
| | 名古屋市 | ○国道23号通行ルールのPR | 継続 | | 継続 | |
| | 名古屋高速道路公社 | ○環境施設帯の設置 1.4km | 継続 | | 継続 | |
| | | ○植樹帯の設置 中央分離帯の緑化：23.0km | 継続 | | 継続 | |
| | | ○民家防音工事の助成 名古屋高速道路沿線で住宅防音工事に対する助成を実施 | 継続 | 名古屋高速道路沿線において、騒音レベルが基準を超える家屋を対象に適宜実施 | 継続 | |
| | 一般社団法人愛知県トラック協会 | ○国道23号通行ルールのPR 会員事業者に向けて、国道23号において大型車は中央寄りの車線を通行するようチラシを会報誌に掲載し、周知を図った。 | 継続 | | 継続 | |
| 愛知県 | 土地区画整理事業において、幹線道路の沿道に適切な土地利用の誘導を推進する。 | 継続 | | 継続 | | |
| 3 その他 | (一社)日本自動車工業会 | 自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの静かな自動車を供給。 二輪車、四輪車とも国連法規に即した新たな国際的基準への適合に係る活動を推進した。 | 継続 | | 継続 | |